

# BCP策定で信頼を安心に昇華する — 日本特殊光学樹脂株式会社 —

## レンズの可能性を追求した37年（企業概要）

日本特殊光学樹脂株式会社は、1974年に従来のガラスレンズではなし得なかった「薄く」「軽く」「安価で」「焦点距離を自在に調整できる」フレネルレンズの可能性に目を付け創業した日本光学技術研究所を、1978年に株式会社に改組し設立する。創業以来、これまでにない『特殊な』レンズ開発に真摯に向き合ってきたことで、レンズ開発に困った時の駆け込み寺的存在として認知され、今や海外からも多くの依頼が舞い込んでいる。特に、大型のフレネルレンズを作らせたら右にでるものがないとまで言われる存在であり、さまざまな産業の未来を拓く専門メーカーである。

製品分野では、フレネルレンズを主軸に、レンチキュラーレンズ、平面プリズム、リニアフレネルレンズ、フライアイレンズ、導光板、非球面レンズなどの高精度な特殊プラスチックレンズを金型製造から製品加工まで一貫して手掛けており、顧客のニーズに合わせて開発を行う国内でも有数の技術力と創造力を誇るニッチトップメーカーである。

社訓としては、「本物を創る」を掲げ、常に「本物とは何か」を自問し続ける環境に身を投じ、ナノメートル単位の加工を可能にする自己研鑽を重ねることによって、真にお客様の満足を得られる製品開発に邁進している。



本社外観



各種プラスチックレンズ製品



巨大太陽光集光用フレネルレンズ

## 本物を創り、本物を届ける

当社では、「超精密金型加工技術」「高精度熱プレス成形技術」「超大型レンズ加工技術」に加え、徹底した温度・振動管理により、お客様の要求水準を高度に実現しています。ただし、「本物を創る」ためには、これら最新技術を活かす職人的な判断や感覚が何より重要であると考えています。

今後も「最新技術」と「人の知恵」の融合により、お客様の信頼に応え続けていきたいと考えています。



常に最善を追求する従業員

## お客様のために議論を尽くす

当社の製造現場には、ホワイトボードが置かれています。これは、難易度の高い試作品や特注品の開発に迷った際に、役職に関係なくいつでも自由にアイデアを出し合える環境を整えるための工夫です。全社員が対等な立場で学び続ける姿勢が当社の強みだと考えています。

「すべてはお客様のために」を合言葉に、決して妥協することなく最善の方法を模索し続ける会社でありたいと思います。

## BCP策定に取り組んだ理由

創業以来、顧客の新製品・新技術を実現する良きパートナーになることを信条に、多様化する要望を高度に叶える各種特殊レンズの設計・製造に携わってきた。結果、現在では「フレネルレンズと言えば日本特殊光学樹脂」と言われる存在となり、特に200インチ級の大型フレネルレンズにおいては自社を信頼して各国から多くの相談を受ける状況にある。このような自社の存在意義を再認識する契機となったのが、東日本大震災であった。そこでBCPについて調べてみたのだが、煩雑さゆえについつい後回しになっていた。今回、板橋区簡易型BCP策定支援の存在を知り、既存の資料をファイリングするだけの簡易なものであることに興味を持った。また、社内に分散している資料を一か所に集約すること自体に意義を感じ、板橋区簡易型BCP策定に取り組んだ。



日本特殊光学樹脂株式会社  
代表取締役社長  
佐藤公一

## 策定にあたり特に注力した点

現在の信頼を得るに至った源泉は、「本物を創る」ことに向き合い続けた従業員の技術・ノウハウによるところが大きいと考えている。そこで、今回は以下の通り、顧客受注データ等の消失を防ぐことはもとより、競争力の源泉である従業員の安否確認や安心感を担保する環境整備に注力した。

- ・受注にかかる重要データは、毎日、本社と熊谷工場でクロスバックアップを行い、常に最新版の完全データを本社と熊谷工場の2拠点にて同時保管

- ・迅速かつ確実に安否情報を収集するために、安否確認メールを一斉送信するとともに、所属長がLINE等で情報を集約する2種類の情報収集ルートを確認

- ・備蓄品は、グループウェアのアラート機能を活用して取り換え時期を確実に管理

今後は、全従業員が集まる毎年1月の年始会議の際にBCP訓練を行い、併せてBCP文書の更新を行うことを決定した。訓練を継続することで万一の事態に備えたい。



グループウェアの備蓄品管理用アラート

## BCP策定の感想・効果

BCP策定に取り組むにあたっては、その重要性は感じながらも非常に大変な印象を持っていた。今回、板橋区からの協力を得て、かねてからの懸念事項を形に出来たこと、さらに板橋区から認定を受けたことは、大きな自信と安心感の醸成につながった。

また、BCP策定の過程で現在の中核事業について真剣に向き合い自問する機会を得た。これによりBCP策定に留まらず、経営課題の優先順位づけが明確になり、更なる成長を見据えた新たな体制づくりに着手する良い転換点となった。

BCP策定が完了したことで、取り組みが終了したのではなく、これから本格的な活動のスタートだと認識している。自社を信頼してくれるすべてのお客様への供給責任を果たすために、有事の対応を常に検討し準備を怠らないように努めたい。

今後、更に板橋区内や全国にBCP策定企業が広がり、お客様の信頼を安心して昇華する企業が増えることを願っている。

### 事業者情報

事業者名	日本特殊光学樹脂株式会社
本社所在地	板橋区蓮根2-16-10
設立	昭和53(1978)年 6月
資本金	1,000万円
従業員数	26名
代表者	佐藤公一
Tel	03-5916-0801
URL	http://www.ntkj.co.jp